

第37回 環境工学連合講演会

先進サステイナブル社会における 環境工学の役割

2025年5月27日 [火]

日本学術会議講堂＋オンライン開催

日 時

2025年5月27日（火）10:00～17:30

参加費

無 料

参加申込

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2025/381-s-0527.html>

定 員

現地参加 130名/オンライン参加 500名
（申込先着順 定員に余裕がある場合、当日参加も受け付けます）

オンライン講演会
アクセス

上記URLで申込いただいた方に、開催前日までにメールでZOOMおよび講演会論文集へのリンク情報をお送りします

問い合わせ先

（一社）日本機械学会事務局 環境工学連合講演会担当
（E-mail: 2025env@jsme.or.jp）

主 催

日本学術会議 環境学委員会 環境科学・環境工学分科会

共 催

化学工学会，環境科学会，環境資源工学会，空気調和・衛生工学会，
資源・素材学会，地盤工学会，静電気学会，大気環境学会，
土木学会，日本LCA学会，日本化学会，日本機械学会（幹事学会），日本建築学会，
日本水道協会，日本セラミックス協会，日本鉄鋼協会，日本土壌肥料学会，
日本分析化学会，日本水環境学会，廃棄物資源循環学会



参加申込専用ページ
(Peatix)

タイムテーブル

開会（10:00～10:10）

開会挨拶

北川 尚美（日本学術会議第三部副部長/東北大学）

招待講演

資源循環 1（10:10～11:10）

座長：中井 智司（化学工学会/広島大学）

排水・廃棄物のアップサイクルによる
価値創出型資源循環システムの構築：課題と機会

寺田 昭彦（化学工学会/東京農工大学）

サステナブル社会形成に必要なリサイクルの
課題と対応策を支える研究と技術

星野 岳穂（日本鉄鋼協会/東京大学）

排水マイニングで拓くサステナブル資源循環の
展望と課題

久保田 健吾（土木学会/東北大学）

招待講演

地球環境・生活環境 1（14:10～15:50）

座長：小瀬 博之（空気調和・衛生工学会/東洋大学）

脱炭素社会に向けた市民の行動変容に対する
情報提供のあり方

栗栖 聖（日本水環境学会/東京大学）

建築物の環境性能の見える化による
SDGs達成への貢献

林 立也（空気調和・衛生工学会/千葉大学大学院）

空間情報技術を用いた環境評価

山本 佳世子（環境科学会/電気通信大学）

大気中の温室効果ガスの濃度変化

向井 人史（大気環境学会/国立環境研究所）

サステナブル社会の実現に向けた技術の
社会経済性評価の視点

尾下 優子（日本LCA学会/東京大学）

資源循環 2（11:20～12:20）

座長：小林 優（日本土壌肥料学会/京都大学）

プラスチック資源循環のための評価フレーム
ワークの構築：サーキュラービジネスモデル
の視点から

菊澤 育代（廃棄物資源循環学会/Aluten（アルテン）

メタン発酵を中核とした資源循環システムの構築

中村 真人（日本土壌肥料学会/
農業・食品産業技術総合研究機構）

遷移金属触媒を用いる二酸化炭素資源化反応

村田 慧（日本化学会/理化学研究所）

地球環境・生活環境 2（16:00～17:20）

座長：加用 千裕（日本LCA学会/東京農工大学）

人権としての環境：環境工学への期待

渡邊 絢子（資源・素材学会/環境資源工学会/秋田大学）

環境評価を支える分析化学

大平 慎一（日本分析化学会/熊本大学）

建設事業における

サステナブルな自然由来重金属等対策

門間 聖子（地盤工学会/応用地質株式会社）

In silicoモデリングを基盤としたOne-Health研究

伊藤 一秀（日本建築学会/九州大学）

特別講演（13:30～14:00）

座長：松山 智哉（日本機械学会/三機工業株式会社）

テクノロジーと自然の調和による
2050年の持続可能な社会の展望

山崎 美稀（日本機械学会/株式会社日立ハイテク）

閉会（17:20～17:30）

第37回環境工学連合講演会の総括

森口 祐一（日本学術会議第三部会員/国立環境研究所）

閉会挨拶

浅見 真理（日本学術会議連携会員/国立保健医療科学院）